



### 5.1.6 大便器洗浄弁

大便器洗浄弁は、大便器の洗浄に用いる給水用具であり、負圧破壊装置（大気圧式バキュームブレーカ）を付帯するなど逆流を防止する構造である（図 - 5.1.8）。

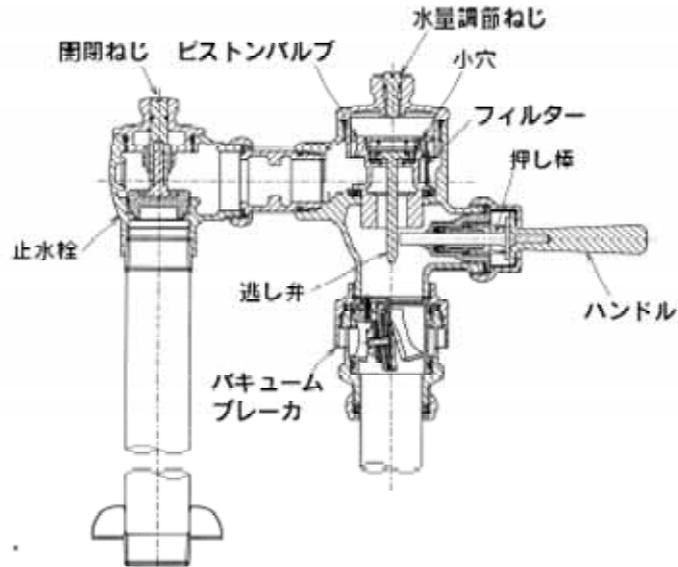


図 - 5.1.8 大便器洗浄弁

### 5.1.7 洗浄弁内蔵型大便器（器具ユニット、通称：タンクレス洗浄大便器）

ロータンク付大便器からタンクを取り外し水道直圧の水流により排泄物を洗浄する腰掛け式便器。弁開閉のスイッチを押すことにより、バルブユニットから便器上部及び便器下部へと水道水が吐出される。水道1次側との縁切りは負圧破壊装置（大気圧式バキュームブレーカ）等による。

### 5.1.8 ホース接続型水栓

ホース接続型水栓には、散水栓、カップリング付水栓、カプラ付水栓、ハンドシャワ付水栓、洗濯機用水栓等がある。

#### ハンドシャワ付水栓・湯水混合水栓

湯水混合水栓に固定してあるホースとシャワヘッドを連結した主として浴室に設置される器具で、ハンドシャワを浴槽内に漬ける場合もありうるので逆流防止装置が必要である。

ハンドシャワ付水栓の1次側通水（湯）室の水と湯の系統が完全に分離されており、かつ器具本体の混合室及びホース室の湯が逆流防止装置で1次側通水（湯）室に逆流するおそれがない構造となっている。器具本体の混合室内の1次側に近い箇所、ばねなどの有効な逆流防止機能を持つ補助装置を設けた逆止弁機構を内蔵したものになっている。

#### ハンドシャワ専用型水栓

理・美容専用及び一般家庭の洗面化粧台・台所に使用される器具で、レバー操作を行う水栓本体部と吐水を行うシャワ部に大別され、その間をシャワホースで接続されている。水栓下部には給水・給湯・混合と3本のパイプが接続され、給水・給湯パイプには逆止弁

を有している。

#### 5.1.9 洗浄装置付便座

給水された水は分岐金具を通り、バルブユニットに入り調圧された後、熱交換ユニットを経てノズルユニットにより、おしり、ビデのいずれかの流路に切り替えられた後、各吐水穴から吐水される。

逆流を防止するために負圧破壊装置（大気圧式バキュームブレーカ）を設けなければならない（図 - 5.1.9）。



図 - 5.1.9 洗浄装置付便座の例

#### 5.1.10 貯湯湯沸器

タンク内に貯められた水をヒータなどの熱交換器で全量を湯に変換してから給湯する湯沸器で、タンクは密閉されている。給湯方法は、先止め式瞬間湯沸器と同様、その先の配管上に設けられた水栓の開閉で給湯する。

貯湯湯沸器の1次側に水道用減圧弁で逆流防止装置を備えた弁が設置されている（図 - 5.1.10）。